

<p>と呼称しています。</p> <p>次に大事な観点は、時間数をどの場に入ればよいかという問いです。</p> <p>陽数理盤を活用する場合は、かならず、中央のA場に時間数を入れて下さい。アルファベットの記号で表わしている場は不動ですから、アルファベット順に④から⑩へ、⑩から⑥へ...というように、時間数を展開しますと、その時間内に在する空間作用を誘引する、因子となる数各場が各場に配転されます。この数と場が一体となって作用するものが、運命となつて心の潜在意識を動かし、外には環境としての空間作用を、運命によって示現するのです。その内と外の在り方を、時間と言語によって数読みします。この場合、⑩数は1+0=①として読みますので、この計算法を忘れないで、よく記憶下さい。だから数は①～⑩までを使用することになります。</p> <p>六図は数盤に数を展開すれば、各場にどのような数が回座するかを参考例として図示したものです。数は①～⑩までの九種類ですから、<math>9 \times 9 = 81</math>種の数理展開となります。</p> <p>A①の場合は、①～⑩まで回転した数がJ場で満配となつて、中央のA場に⑩数として回帰します。⑩は1+0=①として、A場は①数に還元されます。他の数理においても、⑩の次は⑥ですが、①に還元されます。</p>	<p>の欄に3を……という順序で、数字を埋めていくのです。最後に、命式の中にある数字の、破壊数に×を、姓名数に○をつけましょう。年の命式には年の破壊数を、月の命式には月の破壊数をあてはめるように注意して。</p>	<p>5 「破壊数」の説明 (被告書籍 2の68～69頁)</p> <p>破壊数とはなにか？ 悲惨な事態を引き寄せる、「破壊数」。自らを受けける破壊を直視する前に、知っておくべきことかあります。</p> <p>人生最悪の災厄要素 どんな人生にも浮き沈みはつきもの。誰の身にも必ず巡ってくる人生の危機に、最大かつ最凶の影響を与え、それが「破壊数」です。その名のとおり、人生を破壊しかねない災厄をもたらす破壊数。人生のいい面ばかりを夢見て、マイナス面から目を背ければ、待っているのは地獄のような惨状です。宿命数と同様に1～9の数字で構成される「破壊数」を知ること、人生の節目節目に用意された落とし穴を回避し、力強く人生を生き抜くパワーを身につけま</p>	<p>5 「破壊数」の説明 (被告書籍 1の24頁)</p> <p>破壊数 自分のマイナス面を表す破壊数を知りプラスへ転じさせて</p> <p>破壊数は、人生において、マイナスとなる性質や運勢傾向を表す数。生まれた年と月によって決まります。左の表では年の破壊数を、巻末の早見表では月の破壊数を記してあるので参照のこと。</p> <p>年の破壊数は、それ自身があなたのマイナス面を表すと同時に、宿命数との関係も読んでいきます。たとえば、宿命数と年の破壊数が同じ場合、「宿命数が破壊されている」と考えます。宿命数が破壊されている場合、宿命数で示される事柄が悪い意味となつて表れてくるので、この場合、「宿命数」の欄に書かれている意味を汲み取ると同時に、「破壊されている場合」という欄も読</p>
<p>5 「破壊数」の説明 (原告書籍 42～43頁)</p> <p>破壊数 (はかいすう) の出し方 時間数と場と十二支の関係が分つたなら、次は凶作用を誘発する、凶性の意味をもつ数を、どうして見分けるかの法を知る必要があります。</p> <p>凶性をもつ破壊数は、初心者には恐れられているだけでなく、心がその破壊数にとらわれやすい離点があります。その意味では要注意の数です。</p> <p>表現における破壊数の文字だけにとらわれずと、物事を総て破壊させるような意味がある用語のように思われまが、正しくは、「八開」(はかい)に通じる理が、破壊性の潜在象として秘められているのです。だから実占の場においては、暗い悪い意味だけにとらわれず、数をつかり解説しな八開に通じる吉性を見つけて出すよう、数をしつかり解説しなければなりません。いかに読むかが、実占の力の有無が問</p>	<p>5 「破壊数」の説明 (被告書籍 1の24頁)</p> <p>破壊数 自分のマイナス面を表す破壊数を知りプラスへ転じさせて</p> <p>破壊数は、人生において、マイナスとなる性質や運勢傾向を表す数。生まれた年と月によって決まります。左の表では年の破壊数を、巻末の早見表では月の破壊数を記してあるので参照のこと。</p> <p>年の破壊数は、それ自身があなたのマイナス面を表すと同時に、宿命数との関係も読んでいきます。たとえば、宿命数と年の破壊数が同じ場合、「宿命数が破壊されている」と考えます。宿命数が破壊されている場合、宿命数で示される事柄が悪い意味となつて表れてくるので、この場合、「宿命数」の欄に書かれている意味を汲み取ると同時に、「破壊されている場合」という欄も読</p>	<p>5 「破壊数」の説明 (被告書籍 2の68～69頁)</p> <p>破壊数とはなにか？ 悲惨な事態を引き寄せる、「破壊数」。自らを受けける破壊を直視する前に、知っておくべきことかあります。</p> <p>人生最悪の災厄要素 どんな人生にも浮き沈みはつきもの。誰の身にも必ず巡ってくる人生の危機に、最大かつ最凶の影響を与え、それが「破壊数」です。その名のとおり、人生を破壊しかねない災厄をもたらす破壊数。人生のいい面ばかりを夢見て、マイナス面から目を背ければ、待っているのは地獄のような惨状です。宿命数と同様に1～9の数字で構成される「破壊数」を知ること、人生の節目節目に用意された落とし穴を回避し、力強く人生を生き抜くパワーを身につけま</p>	<p>5 「破壊数」の説明 (被告書籍 42～43頁)</p> <p>破壊数 (はかいすう) の出し方 時間数と場と十二支の関係が分つたなら、次は凶作用を誘発する、凶性の意味をもつ数を、どうして見分けるかの法を知る必要があります。</p> <p>凶性をもつ破壊数は、初心者には恐れられているだけでなく、心がその破壊数にとらわれやすい離点があります。その意味では要注意の数です。</p> <p>表現における破壊数の文字だけにとらわれずと、物事を総て破壊させるような意味がある用語のように思われまが、正しくは、「八開」(はかい)に通じる理が、破壊性の潜在象として秘められているのです。だから実占の場においては、暗い悪い意味だけにとらわれず、数をつかり解説しな八開に通じる吉性を見つけて出すよう、数をしつかり解説しなければなりません。いかに読むかが、実占の力の有無が問</p>

<p>われる点です。</p> <p>破壊数の意味を示しますと、次のような意味があります。</p> <p>圧迫される。迫害される。腐敗する。崩壊する。</p> <p>病気になる。ケガをする。事故にあう。失敗する。</p> <p>損失となる。損害となる。苦難にあう。倒産する。</p> <p>手形禍。争う。騒音に悩まされる。努力が無となる。</p> <p>サギにあう。盗難にあう。離婚する。殺人。……</p> <p>破壊数の出し方は生年数を教霊盤のA場に入れ、アルファベット順に数を展開して、5数と対向する数が破壊数となります。また十二支は、年数、月数の十二支に該当する場の、方形枠の外側に接合させて、小さな「○」印をつけます。そして、その向い合う十二支の場が破壊数となります。したがって、破壊数は基本として、二種の破壊数があることとなります。だが、⑤数の年月には、⑤数が中央のA場にあるため、破壊数は一つだけとなります。</p>	<p>んでください。両方を読むことで、あなたの本来の姿がわかります。</p> <p>一方、月の破壊数は命式を作る際に使用します。詳しくはP112～119を参照のこと。</p> <p>破壊数には、その威力を弱める働きをする”破壊封じ数”というものが存在します。破壊封じ数はP62～70の”破壊数”の欄の最後に記してあるので、そちらを参照してください。その数をデザインした小物などを持つことで、破壊のパワーを弱めることができます。ぜひ活用を。</p>	<p>破壊数もやはり旧暦がベース</p> <p>「破壊数」も「宿命数」と同様、旧暦がベースです。1年の始まりは元旦(1月1日)ではなく、節分(2月4日)。つまり、破壊数を考える上では、2006年1月1日～2月3日は「2005年」となります。慣れるまでは、間違えやすいポイントなので、気をつけてください。</p> <p>破壊を封じる数字がある</p> <p>人生そのものが粉々に砕け散ってしまうほど、強力な「破壊数」のパワー。しかし、一部の数を除いて、その破壊のパワーを封じることができ数字があります。数字のマイナスパワーには、数字で対抗してください。各破壊数を解説したページに、あわせて「破壊封じ数」を紹介しています。その破壊封じ数がデザインされたアクセサリーや、携帯電話のストラップなどを身につければ、破壊のパワーを弱めることができます。</p>
<p>6 数字の印の付け方 (原告書籍43頁)</p> <p>破壊数の記号は「X」です、<u>教霊盤に記入する十二支の記号は「○」です。</u></p>	<p>6 数字の印の付け方 (被告書籍1の117頁)</p> <p><u>数字をすべて埋めたら、破壊数にXを、宿命数と姓名数に○をつけます。</u></p>	
<p>7 教霊簡易暦 (原告書籍153～170頁)</p> <p>別紙Aのとおり</p>	<p>7 破壊数早見表 (被告書籍1の184～189頁)</p> <p>別紙Cのとおり</p>	
<p>8 破壊数一覧表 (原告書籍152頁)</p> <p>別紙Bのとおり</p>	<p>8 破壊数早見表 (被告書籍1の184～189頁)</p> <p>別紙Cのとおり</p>	<p>8 破壊数早見表 (被告書籍2の70～71頁)</p> <p>別紙Dのとおり</p>

9 教霊盤  
(原告書籍35頁)

J 場	E 場	G 場
H 場	A 場	C 場
D 場	F 場	B 場

4 J	9 E	2 G
3 H	5 A	7 C
8 D	1 F	6 B

(A) 5 図 (B) 陽数理

9 命式  
(被告書籍1の117頁)

例)  
激数8の人の場合

